

あうるずNEWS

第1号

2011年7月8日

自然エネルギー ライブ+環境保護の 取り組み

2011年5月29日、27年ぶりに帯広の森で開かれた植樹祭があり、あうるずはバイオマスライブの開催とエゾシカ丼の販売を行いました。バイオマスライブは、SE-NOさんや中小企業オーケストラさんの演奏が行われ、生憎の天気にも関わらず多数のお客さまに楽しんでいただきました。



エゾシカジンギスカン使用



2杯買って行くお客様も！



約200杯を販売できました。



旭川出身の二人組ユニットSE-NOさんのステージ

また、植樹祭の企画展示ブースでは「エゾシカを食べて森を守ろう」をコンセプトとした新得の上田精肉店さんのエゾシカ丼を一杯300円で販売し、買ってくれたお客様からは「おいしい」「意外と柔らかい」と好評をいただき大成功でした。(宗岡)

[上田精肉店さんホームページ](http://www.ezodeer.com/)
<http://www.ezodeer.com/>

[SE-NOホームページ](http://www.se-no.info/)
<http://www.se-no.info/>

十勝の人を元気に するリアルウェア、 サンプル到着！

2011年6月8日、発売に向けて準備中のリアルウェアのメンズの農家向け作業着（ツナギ）のサンプルができ上がり、お披露目となりました！十勝リアルウェアプロジェクトは、「たのしく働く人の服は、結果的にカッコいい。」をテーマに、十勝の人々が元気になる仕事着を作ろうというプロジェクトです。ひよこデザインは、ロゴマークなどのデザイン担当として参加しています。この作業着は、150人以上の農家の方へのアンケートをもとにデザインされたもので、生地はデニムを使い丈夫に、上半身はスリムなシルエットに、下半身はゆったりと、など実用と見た目のカッコ良さにこだわった作りです。今回のサンプルをたたき台に、商品化に向けたさらなる調整を施していきます。

リアルウェアプロジェクト第一弾、 農家のための快適な仕事着「AGRISTA」



メンズのサンプルですが、女性も試着！
レディースも発売予定です。

✦ 服飾デザイナーの谷添亜人武さん
(右)にこだわりのポイントにつ
いて説明をいただきました。



なお、十勝リアルウェアプロジェクトでは、オフィシャルサポーターを募集。個人、法人を問わず年間1口6,000円。協賛口数に応じて特典を用意しています。お問い合わせは、帯広市西1条南9丁目2広小路内FLAVOR 電話：0155-28-6601まで。(久保田)



遅い時間にも関わらずたくさんの方がご参加くださいました。

十勝リアルウェアプロジェクト
公式ブログ

[http://ameblo.jp/
tokachirealwearproject/](http://ameblo.jp/tokachirealwearproject/)

帯広・広小路FLAVOR

<http://www.flavor-jp.com/>

神宮マーケット 大盛況！十勝から CROPSが参加

2011年6月26日、北海道神宮にて開かれた第一回神宮マーケットに、十勝から「CROPS」と「鎌田きのこ」さんが出店！ひよこデザイン菊池が、いつもお世話になっているCROPSのみなさんに同行させていただきました。

「神宮マーケット」は、かつて札幌の食料供給地として賑わいを見せていた「円山朝市」を復活させ、消費者と生産者の交流の場をつくらうという趣旨のもと企画されたイベントです。一体どれくらいのお客さんが来るのか想像がつかない状態で当日を迎えましたが、スタート前からお客さんが待ち構えていました。1時間ほどで主な商品は売り切れ続出！CROPSのみなさんも他の出店者のみなさんもビックリしていました。お客さんからは、野菜のこと、食べ方のこと、そして売り場に立っている私たちのことなど沢山の質問がありました。やっぱりお客さんと

作り手さんの会話の場所はとても大切だと感じました。お客さんも喜ばれていましたし、CROPSのみなさんもとても楽しそうでした！

CROPS代表の堀田隆一さんは「お客さんが農産物に対する関心が高く、僕らの説明を聞いてくださる目が真剣で、野菜を大切にしている感じがして、丁寧に扱ってくれました。できれば年に一度は札幌に足を運びたい」とおっしゃっていました。札幌やその他首都圏でお客さんと関わる機会がもっともっと増えるといいな、と感じた1日でした。(菊池)



初めての「お米ドン」を試食する
小さなお客さん

十勝アグリカルチャー・コミュニ
ティサロン・創造プロジェクト
「CROPS」公式ブログ

[http://www.food-
sommelier.jp/prog/02/crops/](http://www.food-sommelier.jp/prog/02/crops/)

蜂みつ見学会、 はちミーツに参加

2011年6月18日、よくお世話になっているCROPSさんのメンバーのとやま農場さんで開催された「はちミーツ」に参加してきました。この日のメインは採蜜の見学でした。内容は蜂蜜がどのようにできて私達の食卓に蜂蜜がとどくのか、どのようにして蜂蜜を穫るのかなどを見学させていただきました。

北海道十勝の帯広市美栄町にある畑作農家の外山さんの畑では菜の花を育てていて、菜の花畑の隣には蜂箱があ

ります。この日はその蜂箱から蜂が一生懸命集めてきた蜜を獲る所を間近でみさせてもらいました。

採蜜の様子を見せてくれた方は、十勝養蜂園の斉藤さんです。まずは蜂の目くらましとして煙をたき、そのあと巣を取り出し、蜂を払って取り出していました。そのあとに蜂の巣を遠心分離器にかけ、私達の知っている蜂蜜が遠心分離器から流れ出てくる様子でした。でき立ての蜂蜜をパンに付けて食べさせてもらえたのですが、やはり格別の美味しさがあり、また、季節ごとで採れる花の蜂蜜がどのようにしてできるかなどを話、蜂蜜の奥深さを教えてもらいました。(宗像)



美味しそうに出来立ての蜂蜜を
巣から直接食べる様子

とやま農場

<http://www.toyama-nojo.net/>

北海道で最も美しい! 電話BOX修繕に参加

2011年6月18日、ひよこデザインの森、市来は去年に続き今年も帯広の森

体育館前「森の電話ボックス」の補修(ペンキ塗り)に参加しました。森の電話BOXは、20年も大切に使用されており、財団法人日本公衆電話会が行っている「平成20年度全国美し公衆電話コンテスト」の北海道地区部門に見事入賞し、“北海道中で最も美しい公衆電話”と認定されています。



修繕活動当日は天気に恵まれ、
参加者もたくさん集まりました。

ひよこもはりきって作業行いましたがいざ作業を始めると真剣にやっている反面無口になってしまいましたが、本職の方に「手つきが良いよ」と言われやる気も上がりました。こういった地域で大切にされているものに触れ、実際に関われることは貴重な体験です。また、地域で活躍されている方々とお話ができ、地域やそこに住む人を知ることがこれからの私たちの活動でとても重要なことだと思いました。(森)

森の電話ボックス補修活動

<http://tokachidesign.jp/docs/1287.html>

竹中農場×小麦?

2011年6月26日に以前アスパラガスのパッケージのデザインをさせていただいた竹中農場さんにて、焼き肉パーティーがありました。今回は機会あってたくさんの農家さんが来られています。その機会とは小麦を日本一生産する音更町でもっと小麦と親しんだことが出来ないかという話のもと、麦畑を使ったイベントができないかということになり、小麦といえばパン、十勝ではお馴染みのますやの杉山さんから小麦を使ってどんなことが出来るのかという、農家さんと麦イベントの企画会議となり、あうるずはデザインで協力できるのではということになりました。詳細についてはそのうち発表になると思いますので楽しみに。(市来)



ネーミングについて打ち合わせ中

たけなかファーム(竹中農場)
ホームページ

<http://www.rakuten.co.jp/takenaka-farm/info.html>



あうるず代表から

2011年5月19日に飯館村を訪問、バイオマス技術で貢献ができないかと畜産環境整備機構の方と一緒に飯館村、川俣町の農業者をまわりました。詳しくは…

<http://kikusada.blogspot.com/>

発行：コミュニティシンクタンク
あうるず

北海道帯広市東2条南4丁目10番地

TEL：0155-67-6305

FAX：0155-67-6307

MAIL：npo_ctt_owls@netbeet.ne.jp

URL：<http://www.netbeet.ne.jp/>